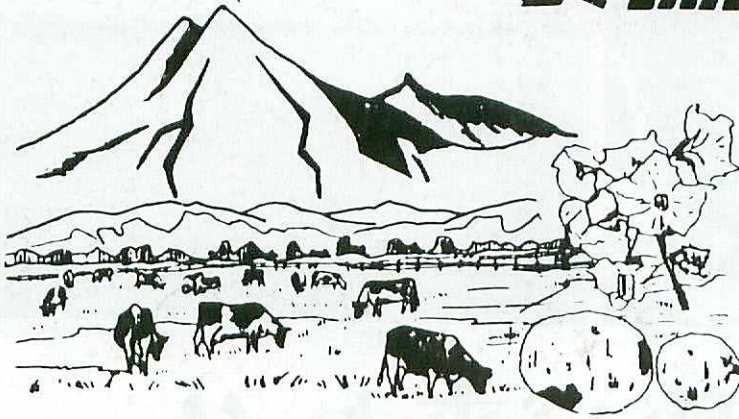
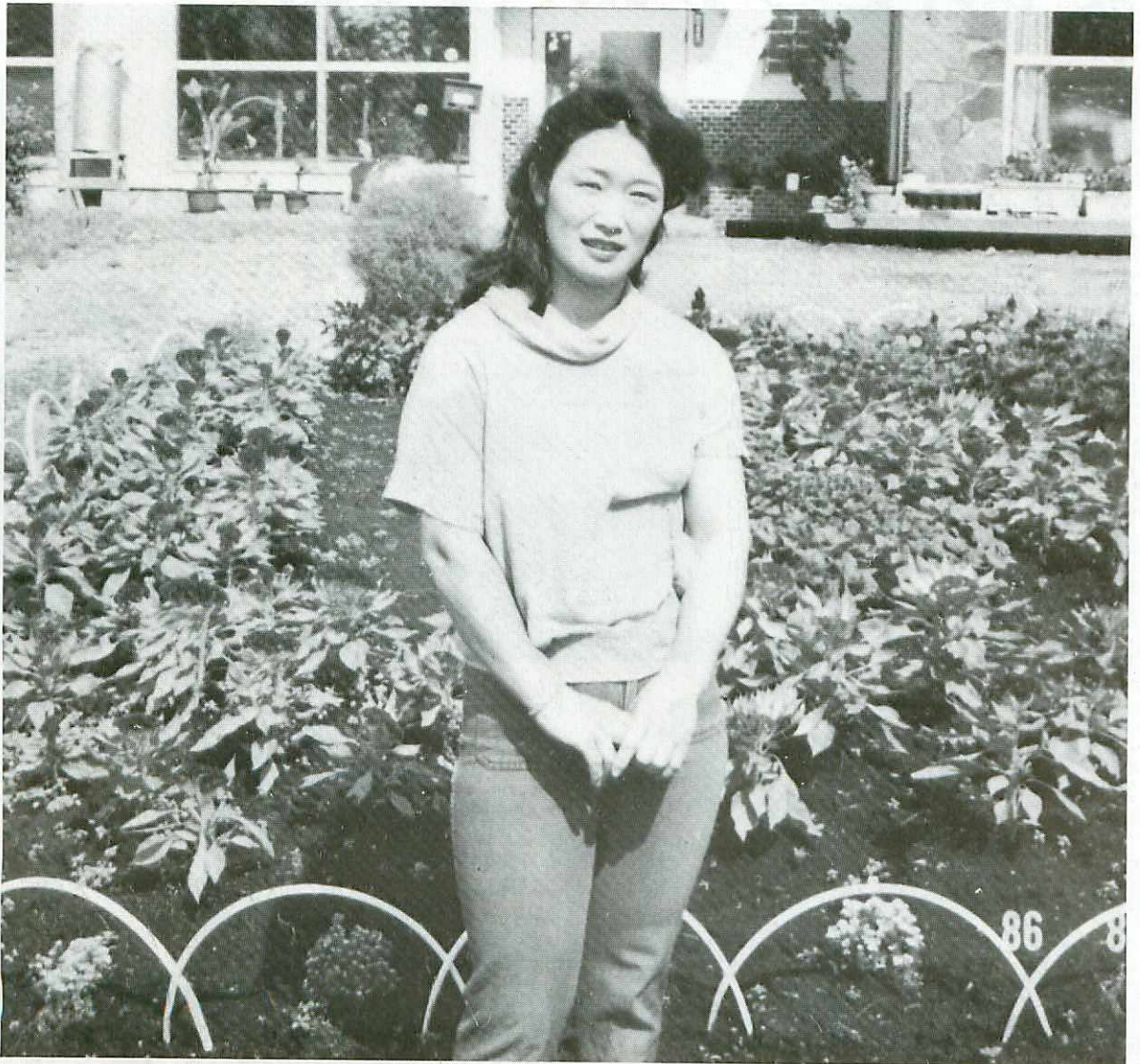


なかいべつ 農協だより



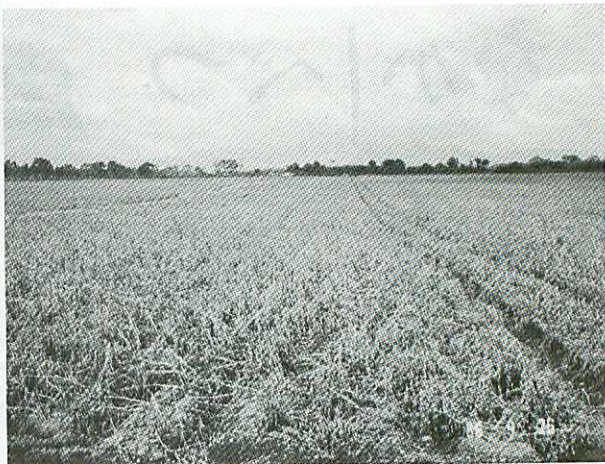
142
号
昭和61年10月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 術 板 野 印 刷





操業期間中の無事故を願って「御祝い」

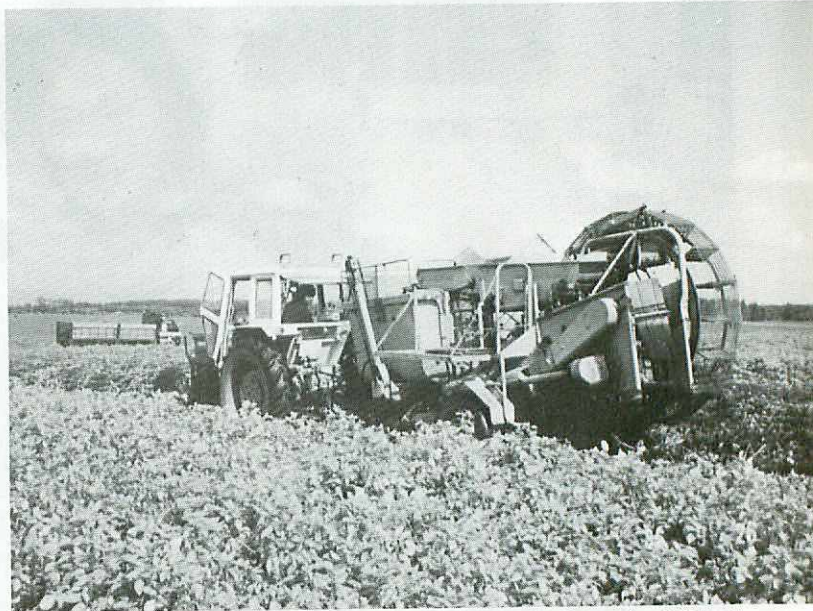


アブラ虫防除のため完全枯ちようされ収穫を待つ種馬鈴しよ

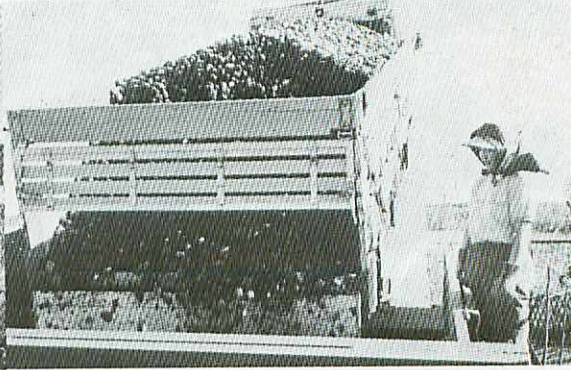
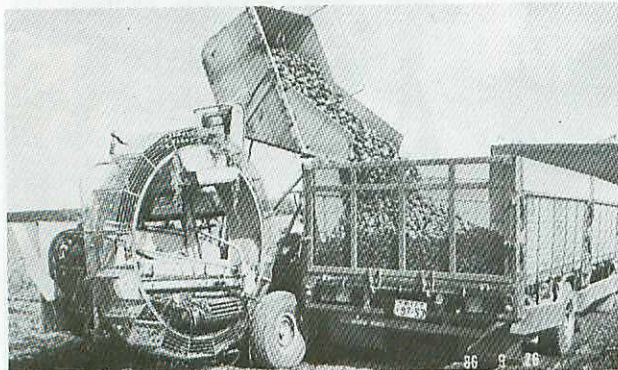
な収穫の秋が来た!!

今年の農作物の作況は、六月中旬から七月中旬までの天候不順で、作物に対する影響が懸念されましたが、その後、好天に恵まれ作況は著しく回復し、牧草、馬鈴しよは平年作以上、てん菜も平年作が見込まれています。濃粉工場は、九月十六日に、操業式を終えて、二十一日から五十万俵以上の処理を目指してフル操業に入りました。

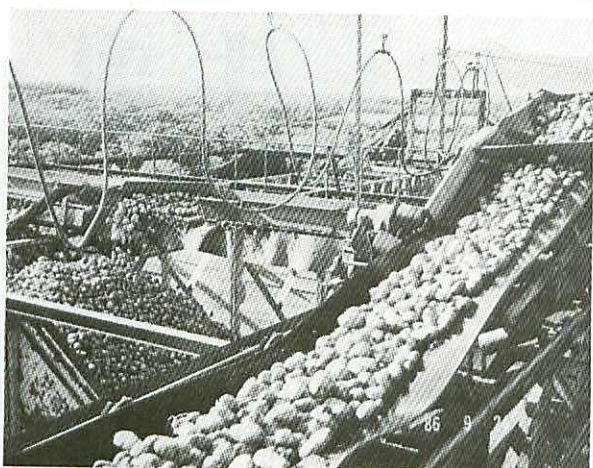
今は、二番草の刈取り、馬鈴しよ、てん菜の掘り取りと多忙な毎日となりましたが、農業機械による事故も年々増えており、収穫期の事故防止に、細心の注意をさせていただきます。



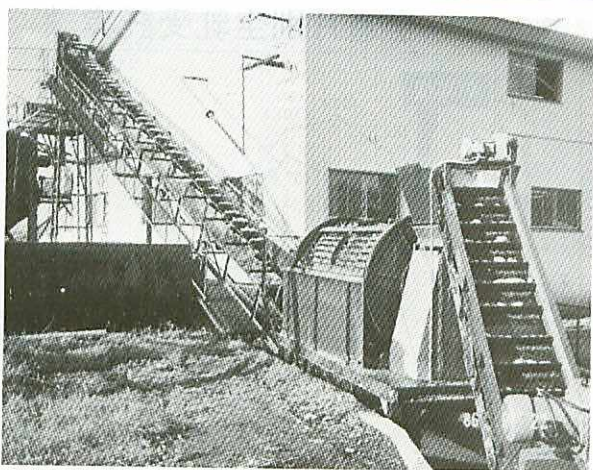
天高く収穫作業が急ピッチ、「農作業事故防止に細心の注意を」



切符制で計画的に運びこまれる濃原馬鈴しよ



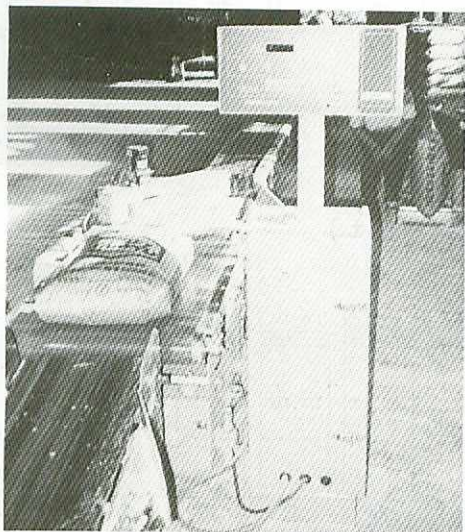
綺麗に洗滌されてピットに向う馬鈴いも、いも、いも



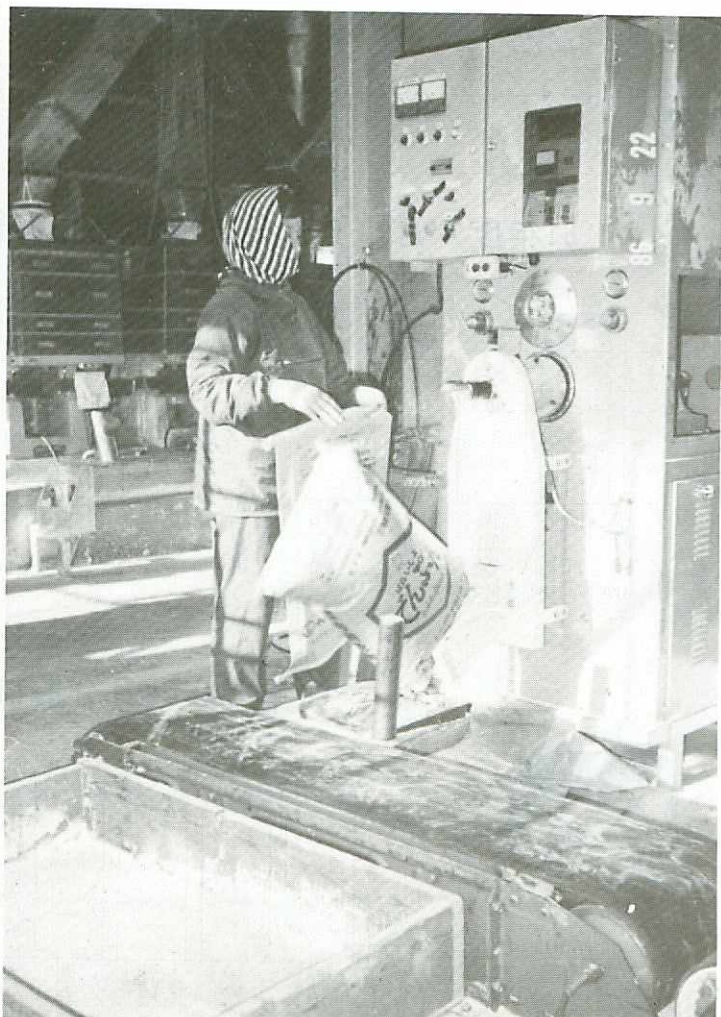
新兵機、澁原馬鈴しょ洗滌機



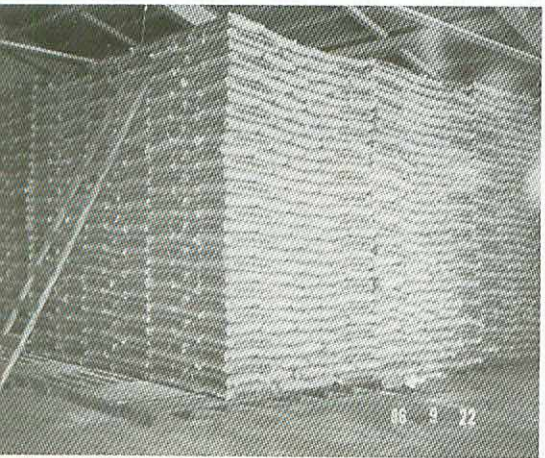
北の大地に実り豊か



今年から新たに加わったオートチェッカー(自動重量選別機)

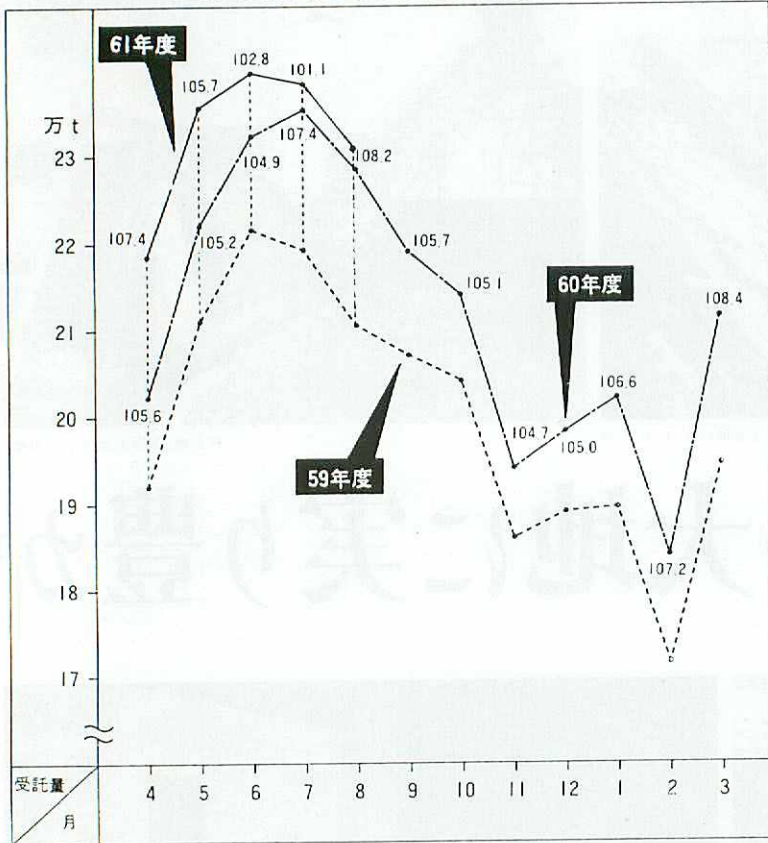


正確に(25kg)袋詰めされる馬鈴しょでんぷん



工場隣接の倉庫に天井まで積まれた製品の山

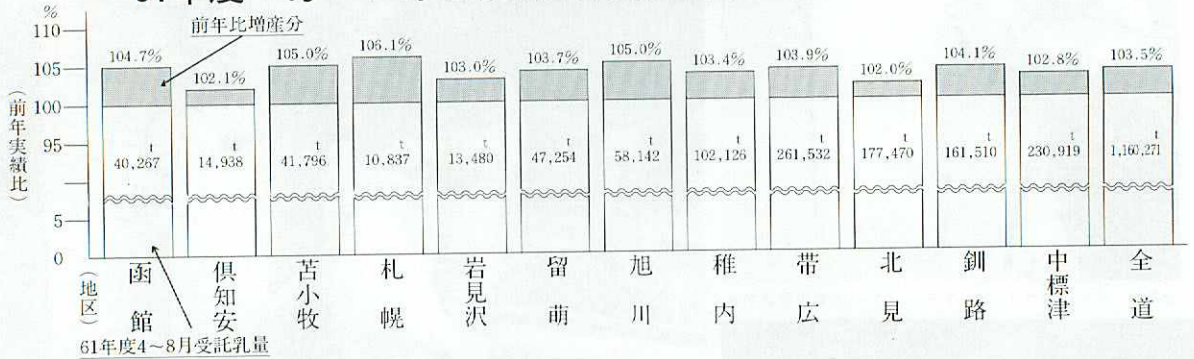
全道月別生乳受託実績



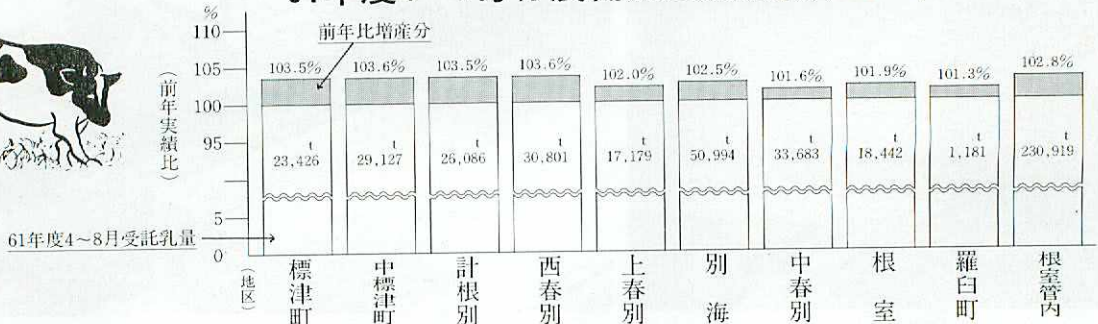
生乳生産状況!!

六十一年度の生乳生産は、八月が前年同月比九
%で四月から八月までの累計では前年比三・六%の
増となった。
全道・根室管内の状況は別表のとおりです。

61年度4月～8月分支所別受託実績(単位t)



61年度4～8月分農協別受託実績(単位t)



根室生産連家畜市場成績 (9月分)

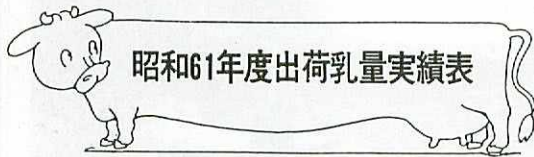
(単位 千円)

区 分	出場数	成立数	成立額合計	平均	最高	最低	
				価格	価格	価格	
乳 用 牛	育成牛(12ヶ月以下)	頭 18	頭 18	3,408	189	241	135
	〃 (12ヶ月以上)	38	37	8,762	237	330	169
	初 妊 牛	58	51	18,866	370	476	280
	経 産 牛	63	59	22,593	383	502	195
肉 用 牛	初 生 と く	22	21	996	47	83	11
	牡 (中とく)	98	91	14,444	159	220	53
	牡 (去勢)	45	44	8,818	200	280	56
	牡 (肥育牛)	88	72	38,625	536	811	204
	育成牛(牝)	234	226	51,640	228	672	19
	未経産(肥育牛)	125	101	51,303	508	661	103
	成 牛(廃用)	409	371	109,643	296	670	102
そ の 他							
合 計	1,198	1,091	329,098	302	811	11	

根室生産連家畜市場、九月の成績は内用牛が高値で安定に推移し、第十四回根室管内肉牛共進会、肉牛特別セールをお願ひします。

もありませんので頭数、金額ともに計画以上の成績でした。組合員の皆さんの一層の利用

根室生産連 家畜市場成績



昭和61年度出荷乳量実績表

(61.4.1~61.9.30) 中標津町農業協同組合

	出 荷 乳 量		前年比	
	60 年	61 年		
4 月計	4,518,100.0 ^{kg}	5,090,083.3 ^{kg}	112.7 [%]	
月 累計	4,518,100.0	5,090,083.3	112.7	
5 月計	5,211,780.0	5,658,333.0	108.6	
月 累計	9,729,880.0	10,748,416.3	110.5	
6 月計	5,967,650.0	6,104,848.7	102.3	
月 累計	15,697,530.0	16,853,265.0	107.4	
7 月計	6,244,460.0	6,176,869.5	98.9	
月 累計	21,941,990.0	23,030,134.5	105.0	
8 月計	6,160,560.0	6,096,705.9	99.0	
月 累計	28,102,550.0	29,126,840.4	103.6	
9 月	上旬	1,942,960.0	1,923,102.5	99.0
	中旬	1,942,560.0	1,906,226.6	98.1
	下旬	1,922,050.0	1,862,865.6	96.9
月 計	5,807,570.0	5,692,194.7	98.0	
累 計	33,910,120.0	34,819,035.1	102.7	



全町民の願いをこめた交通安全旗が秋風にはためく。



収穫作業たけなわですが慣れに油断することなく細心の注意を。



デンマーク・コペンハーゲンにて

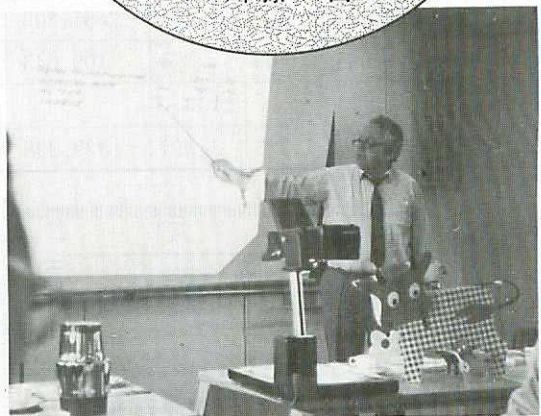
ヨーロッパ酪農事情①

視察報告

理事 竹下 日吉
理事 齋藤 哲夫

全国酪農協会ヨーロッパ酪農事情視察研修旅行に（九月一日～九月十五日）計根別農協組合長代行・長尾良実氏を団長として、管内より九名・全道三五名・全国で七〇名の仲間と共に現地研修に参加させて頂きました。

私達一行を乗せた飛行機は八月三十一日夜九時三〇分・成田発で、九月一日午後一時三〇分・現地時間朝六時三〇分（差七時間）デンマーク・コペンハーゲン空港へ到着しました。バスにて九時よりフォスエレクトリック社（牛乳検定機具メーカー）を訪れ生乳検査システムの研修を受ける。午後から乳業工場の見学と牛乳・乳製品の製造・販売流通について



中央助言センターでの説明(普及所)デンマーク

研修しました。製品の種類の多い事、「各種ヨーグルト・各種フルーツ牛乳・ローフワット牛乳からクリーム」などに感心させられた。成分取り引きの他にバクテリア（細菌）数三万以上は価格が安くなる。（乳価一kg約四〇～五〇円位）二〇万以上は買いたくないとの事で厳しい一面が伺われました。

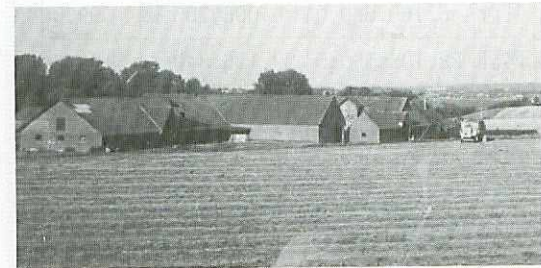
二日よりデンマーク・西ドイツ・オランダ（アムステルダム）までバス（西ドイツの貸し切り）で移動の途中、一



コペンハーゲンの市内で子供らと交流

日二カ所の農場訪問と助言センターでの研修講演を受け、ヨーロッパ酪農の苦しみ（生産調整）とその対策についての見聞を広めました。車窓からの眺めは別海町を走っている様で空の色まで同じでした。

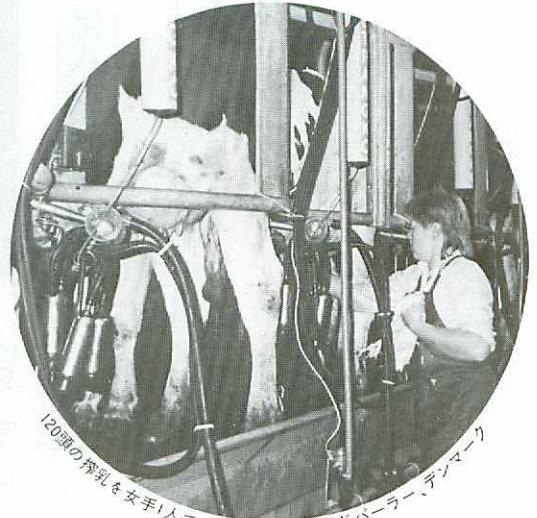
正味十二日間と短かい日程の中で六カ国は十分な調査は出来ませんでした。が「百聞は一見にしかず」の例えの通り感じられる事も多く有りました。



麦の収穫が終わった農村風景、デンマーク



デンマーク南部でのスタックサイレージ



120頭の搾乳を女手1人でこなすダイヤモンドパーラー、デンマーク



ストランゴ社実験農場で乳肉兼用種、赤毛、黒毛 南部デンマーク



標高2,800メートルの山岳地帯にある共同放牧地、スイスでシマンタール(乳肉兼用種)

以下私達が見聞し感じたことを述べてみます。

国民性の違いから日本人では理解の出来ない事も有りますが、個人主義で个性的であり、古い歴史・自然環境を大事にしているが排他的でなく馴染み易い。

デンマーク・西ドイツでの農務省中央助言センターの指導官の講話には熱が入りました。

- ①生産調整・割当制(八一年基準の四・一%九、八九六万ト)
- ②在庫問題と消費拡大(バター一三七万ト)
- ③環境汚染問題
- ④離農後継者問題(休業保障・年金)
- ⑤農家所得向上コストダウンなかでも農

家の所得減少を如何にして止めるかは最大の課題でした。

乳成分の向上・乳質・細菌数(三万)・乳房炎・疾病対策・低能力牛の淘汰(八六年まで二百万頭)・早め更新(二・三産)・全乳哺育・自給飼料の質と量の向上、自家生産濃厚飼料など問題は北海道と同じで酪農には国境は無いと感じました。普及所の先生方の話しを他国で聞くことも良い事でした。初めてのヨーロッパ研修で結論的な事は申せませんが、酪農経営は歴史の積み上げの中で戸数が多く規模は小さい

(一戸十五・七頭)。二億三千万人で日本の五倍の消費量がありなお五百万トも余剰が発生する(生産一億ト)ヨーロッパ酪農と、一億二千万人で二百六〇万ト輸入している日本(生産七百五〇万ト)とは同じ苦しみでも問題になりません。しかしECの在庫と生産が正常にならない限り北海道酪農に圧力が掛かり正常な競争になりません。

(次号へつづく)



第八回理事会

開催日 九月三〇日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

一、第39回通常総会 議案第四号定款の一部変更についての議案取り下げについて
先日開催の地区別懇談においても、組合員から全く異議がなかったため取り下げ

- をいたしたい。
- 原案どおり決まりました。
- 二、固定資産の処分について
 - (1)、旧倉庫の撤去について
 - (2)、除雪用機械の処分について。
- 三、倉庫撤去跡地の賃貸について。
- 四、昭和62年度の職員採用計画について。
- 各号議案は原案どおり決まりました。
- 五、昭和61年度澱粉の仮渡金と利率について。
 - 二、六〇〇円
- 六、外部出資(北海道厚生連)の減口について。
- 七、組合員出資金の減口について。
- 八、昭和61年度団体営草場開発事業の変更について。
- 九、昭和61年度地域畜産総合対策事業に伴う補助残融資の借入について。
- 十、昭和61年度公社営畜産基地建設事業の追加工事について。

- 十一、自作農再建整備資金、農業近代化資金、耕地整備資金、ホクレン延払い、農機具購入資金の借入について。
- 各号議案は原案どおり決まりました。
- 〈協議事項〉
- 一、地区別懇談会の意見について。
- 二、第10回根室農業賞候補の推せんについて。
- 三、澱粉粕の価格について。
 - 組合員、500円
- 澱粉粕の水分は前年の1/2
- 〈報告事項〉
- 一、販売事業の概要について
- 二、澱粉工場の操業計画について
- 三、昭和61年度人工授精実施頭数について。
- 四、生乳受託販売実績について。
- 五、生乳需要拡大特別対策事業の拠出金について。
- 六、アメリカにおける、牛群一括売り渡し法について。
- 七、給油所機器類の更新完了について。
- 八、生活店舗POS導入完了について。
- 九、生産資材の情勢と対応について。

北海道地方季節予報

10月から12月の3カ月予報

9月20日札幌管区気象台発表

気象概要

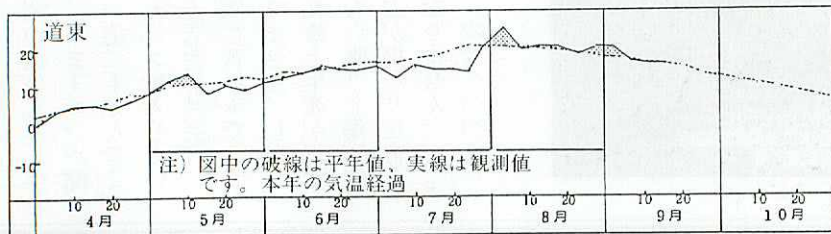
十月から十一月前半は、天気が多变的に変りますが暖かい日が多いでしょう。十一月後半から十二月は、季節風が強まって寒い日が多いでしょう。

月別予報

十月 天気は周期的に変るでしょう。下旬には日本海側で初雪の降る所が多いでしょう。
平均気温、降水量とも平年並でしょう。

十一月 前半、天気は周期的に変わりますが、暖かい日が多いでしょう。後半は寒い日が多く日本海側では雪の日が多くなるでしょう。
平均気温、降水量とも平年並でしょう。

十二月 日本海側では雪の日が多く、一時大雪のおそれがあります。太平洋側やオホーツク海側では晴れる日が多いでしょう。
平均気温はやや低く、降雪量は平年並ですが日本海側ではやや多いでしょう。





Aコープ中標津店で「今年のアキアジは安いネ」と旬を喜ぶ稚子さん

Aコープ中標津店

POSシステム スタートなる!!

Aコープ中標津店は農協だより九月号で紹介のとおり、九月十六日午前十時にPOSシステム（コンピュータ会計機）の始動式を行なった。

テープカットの後、児玉組合長の手によって始動スイッチが押され一斉に稼動した。POS会計機は正確・スピード・サービスの確かな商品管理・販売促進を目的としており、組合員・利用者にとっては商品に付いている「バーコード」正確に読みとり早く会計が出来る。レシートに商品名が出ますので家計簿にも役立ちます。

今後とも従業員一同頑張りますので、な
お一層のご利用をお願い致します。



始動式のテープカット



始動スイッチを押す組合長

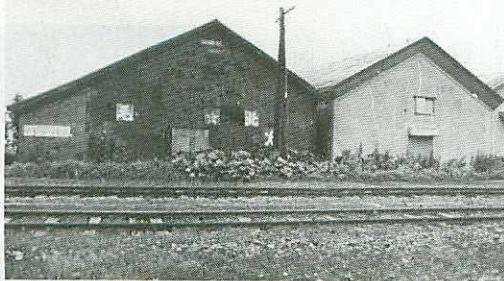
農業倉庫2棟が歴史を閉じる

東四条南二丁目にあった農協の倉庫二棟が九月に解体されました。

昭和二十三年三月に農協会から引き継ぎした建物でした。

最も古い一号倉庫の建設年月日はハッキリしませんが、昭和九年に国鉄標津線が開通した時には既に倉庫は建っていたとの事です。

倉庫の天井には、ワラ製のつまごや、救農工事に使われた先の減った丸シヨベルなどがありました。



営農資材の供給・雑穀の受け入れ、また政府指定倉庫としても活躍した。1号・2号農業倉庫。

61年度

牛乳消費拡大事業の方針

「生乳需要拡大 特別対象事業費拠出金内訳」

飲用牛乳等生乳需要は、年々伸び率が鈍化し、昭和六十年は遂に我が国酪農史上初めての前年割れとなり、昭和六十年は遂に我が国酪農史上初めての前年割れとなり、昭和六十一年度はかつてない生乳生産の減産を実施するという、極めて厳しい酪農情勢にあります。このまま放置すれば、我が国酪農はマイナス成長へと転換せざるを得ない状況になることが危惧されます。生乳需要の減少に歯止めをかけるとともに、我が国酪農の安定的発展を図るため、昭和六十一年度の保証価格決定の状況から、生乳需要拡大資金として全出荷生乳1kg当り四〇銭（全普協及び学級協議会への拠出を含む）を拠出し、強力な生乳需要拡大対策を展開することに決まりました。



生乳需要拡大特別対策事業

別表-1

用途	全用途	加工向
金額	5 銭	10 銭
拠出先	中央酪農会議	全国牛乳普及協会
事業内容	消費者宣伝、啓蒙普及事業 3 億円 全国統一企画立案 3,600 冊	生産者 2 億 2833 万円 メーカー 2 億円 国費 5 億円 合計 9 億 2833 万円 事業予算別表-3

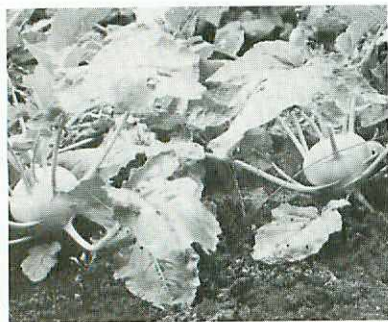
以上は地区別懇談会、農協だより（一四一号）で連絡いたしました。が、拠出金の使途を事業費については今回別表の通り掲載し連絡いたします。

生乳需要拡大特別対策事業の拠出金内訳

別表-2 (単位: 銭/kg)

	中央送金分		指定団体分	合計	備考
	全普協等	全国団体分			
飲用向け	24	5	11	40	府県選択
学乳向け	14.4	5	20.6	40	〃
加工向け	10	5(3銭実施済)	25(実施済)	40	北海道
生クリーム等向け	0	5	35	40	府県選択

(注) 上記拠出金は各指定団体の月々の用途別販売乳量に対する単価である。



一見して宇宙船か、戦時中の機雷を思わせる中国の野菜「コールラビ(蕪甘藍)」写真が北の大地で立派に成長している。

栽培している北標津部落の岩倉信子さんに食べ方や料理方法について尋ねて見ましたら「漬け物・油炒め・肉鍋の具にと食膳を賑わしています。食べる時は必ず皮をむくこと皮ごと料理すると苦いですよ」とアドバイスされた。

珍しい中国野菜

コールラビ

別表-3

乳製品関連補助事業予算 (全普協)

事業名	予算額	事業内容
	千円	
1. 消費改善活動推進事業	689,464	
(1) 乳製品料理普及	180,680	
① 学校等料理普及	33,520	
・生乳乳製品提供	5,520	高校家庭科の料理実習に牛乳乳製品の無料提供(モデル実施)
・テキスト製作・配布	28,000	牛乳乳製品を使った料理実習テキストの製作と配布
② 料理番組提供	147,160	牛乳乳製品の消費拡大のためのテレビ番組の提供(15分番組、1クールの製作・放映)
(2) 牛乳乳製品フェアの開催	169,333	
① 乳製品フェアの開催	118,733	牛乳乳製品の正しい知識と利用方法等を普及するためのフェア開催費、広告費等
② 牛乳各種コンクール	50,600	県普協での牛乳乳製品各種コンクールの実施
(3) 需要増進調査活動	339,451	
① 牛乳知識の普及	313,053	医療関係者を通じたコレステロール対策の研究活動費
② 販売ルート拡大調査	26,398	牛乳の販売ルート拡大のための企画会議及び調査費
2. 牛乳乳製品普及センター設置事業	238,867	
(1) 普及センターの設置	149,062	牛乳乳製品の展示、販売、試食及び料理実演等を行うセンターの設置
(2) 普及宣伝費	89,805	
合計	928,331	



ユニークな 廃品再利用

パイプラインミ
ルカの導入で不用
になったバケツミ
ルカが、ユニーク
なアイデアで、
郵便物受け「写真」
として甦り活用さ
れている。

郵便受け口が大
きくて雨水が溜ま
るのではと心配さ
れるが下側に水抜
きの穴があった。
考案・製作・設置
しているのは豊岡
部落の白築政博牧
場です。

去る九月十日から、乳牛改良同志会事業の「乳牛消流地視察研修」に同志会員四人と農協職員二人で行って来ましたので、私が見て感じた事を報告いたします。

この事業は三年前より実施していますが、目的は厳しい酪農情勢が続いている中で個体販売を少しでも有利に進め

府県の乳牛消流を視察して

るために、消流先の声を直接聞き望んでいる物・時期など、また、交流を図り・末永く・少しでも多く中標津の牛を売って行こうと推進しているものです。

視察先は岡山県賀陽町農協と岐阜県高山市飛田酪農です。賀陽町農協については過去二、三年間行って報告されているので簡単に述べます。話しでは

聞いていたが、「こんな狭い場所酪農が出来るのか」と感じた。地形が悪く道路は狭い。牧草畑は全く見当らない。デントコーン畑らしいが水田の畔に囲まれていた。飼料(粕類・配合・その他)は殆んど購入しており一部でイタリアンを単播しサイレイジにしているとの事でした。乾草も総て購入、最近北海道からの牧草は評判が悪い(カビ・雑草の混入等)ので、スーダングラス・ルー

は良かったとの事でした。賀陽町の同志会員との交流会の場では、偶然にも宿で一緒になった道東事業所の橋場さんも交えて、三時間程自己紹介に始まり色々話し合います。事が出来ました。求めていた牛は「大きくなってもいい乳が出て足の丈夫な牛・値段は安い方が良い……」でした。「自家育成は何故駄目なんですか?」「雌仔育ててみたがコツ子に餌が回らんで親の

刈り、福島さんが説明役で、バリカンの使い方を中心に講習をして来ました。午後から牧場に案内して貰いましたが、共進会と午後二時からの橋場さんの講演があり、牛の説明は殆んど聞く事が出来ませんでした。



府県の若い同志会員との交流会

中標津の牛は「乳が出て足腰が丈夫だ」と評判

サンのキューブを買っているそうです。飼料給与は自家配で簡易なコンプリート方式にして与えている。

中標津産の牛を導入しての評判は、一頭当りの乳量が八kg以上が多く初産でも七kgも出ている、「乳が出て足腰が丈夫だ」と言う人が多く良い結果が生れている様に感じました。価格については種々

実情が有るので出来るだけ避けて来たので判りませんが、今年六月頃に購入した経産牛

残り物が藪しか与らんで、背は伸びし腹ぼつかし出て駄目や。」「北海道から孕み買

うて搾るだけ搾って肉にした方が楽して儲かるで、肉に出しても手出しせんでも買えるもん」こんな話を聞き、中標

津には沢山若牛がいるので末永く沢山の牛を買いに来て下さい」と言っている夜は別れた。

次の日は賀陽町の共進会を見学、終了後「毛刈りの講習会をやして下さい」と言われ

縫う様に登って行く景観は素晴らしく美しい眺めでした。

高山でも若い同志会員二十三人と交流会の席が設けられた、高山から七月中旬に十二

人が来町しており道内の実習学校を出たと言う人が多く気軽に話し合う事が出来ました。実際に素晴らしい北海道の牛

を沢山見ている為、「何とか自分達も良い牛を作ってみたくて育てて見たい」と、張り切っている若い人が多かった。

的に希望者の頭数をまとめ、農協へ電話注文してくるといった信用取り引きをしている所で、特に関心を持って行った訳です。これ迄の結果では「良い牛を送って貰っている、思った通り働いてくれる足も丈夫で長持する」と言ってくれました。ここは四、五産搾

る人が多く自家育成も行なっているが、「自家産だけではどうしても長持がしない、二、三年には北海道の牛を導入しなければ……」世話役をし

ている飛田酪農の田中副組合長は「一頭当りの生産量を上げるにも、良質乳を出す為にも、また舎飼なので広い放牧地で育った骨の確りした北海道の牛をどうしても入れて行かなければならない。入替える牧場で一度に十頭以上もする所もあるが、毎年一定の

頭数を買うとは行かない、今年五車注文あつても二、三年は二車かも知れない、けれど何年置きかに数多く買求めるだろう」と話してくれました。飛田酪農は昭和五年に設立し、現在九〇戸（役員九人）で牛乳年間生産量一万一千（日量約三〇）受け入れし

飛田牛乳として販売している。生産量の五〇％は飲用・バター・チーズ・ヨーグルト等で独自に販売し、残りの五〇％は県酪・雪印等に買つて貰っている。乳価は夏価格と冬価格があり更に乳質によって価格差がついている。乳価・質の基準は脂肪三・三％無脂固

型分八・四％細胞数五〇万以下となつており、不合格になつた場合は三日間検査し受け入れするとの事でした。牛を送っている我々として岡山と岐阜を比較してみると少しでも長く牛舎につないで働いて貰おうと言う気持ちがある高山に送りたい様に思う

が、回転が悪くなるので？… 両県を視察して岡山は一産か二産で搾れるだけ搾る。高山は大事に少しでも長く働いて貰おうと極端な地域差が見られました。なお、詳しくは同志会の例会等で報告する予定です。

農協婦人部

活動の活発化を

目指して

リーダー研が催される



「この研修でいろいろな事を学びました」西崎さん、安江さん、藤原さん

し、直接健康をぶつけてPRするべきである。」と、話されておりました。講演終了後、「手づくり音頭」の踊り方の指導、そして懇親会が行なわれました。懇親会では、各地区の代表者がこの時を待っていましたとばかりに、歌や踊りにハッスルしていました。中には、飛び入りで会場を沸かす人もあり、会場は二四〇名の熱気と、爆笑の渦に巻き込まれておりました。

家に従事しているだけでなく、一般社会情勢を常識として、その時代に対応していかねばならない。」と、また、「いい事はぬすみ、そして明日からでも、今日からでも、それを実行することが自分を向上させる第一歩である。」と、述べておりました。最後に、「字を書き、汗をかき、恥をかい、ボケにならないように。」と講演は終了致しました。

この二日間研修で学んだ事を無駄にせず、これからの農協婦人部活動が一層活発化するよう生かしていきたいと思います。

「農協婦人部の部活の活

発化をめざして、活動に必要な知識を習取し活力ある組織リーダーを育成することにより農協婦人部組織の強化を図ろう」と、今年も農協婦人部道東ブロックリーダー研修会が、八月六日、七日の両日、音更町十勝川温泉で開催されました。当農協婦人部からは、安江さん、西崎さん、藤原さんの

三名が参加して研修を受けてまいりました。第一日目は、北海道新聞社論説委員、塩崎氏より、「消費者から見た農業について」と題し、消費者の意識や食生活の変化、また、消費者が農業に望む事は何か、では生産者はどうすべきか、お話をしていたいただきました。消費者が農業に何を望んでいるのかと

言う事について塩崎氏は、「無農薬ないし低農薬を望んでいる。私達の北海道は、「クリー」ン北海道」のイメージを大切にしなければならぬ。」と、また、「売る努力」と消費者との連携という事で牛乳のPRについては、「今はヘルシーの時代であり、「二〇〇cc パワー」を売り込みの材料とするより、カルシウムを強調

習日の研修は、家の光記事活用体験発表が行なわれ、続いて「農協と農協婦人部活動について」、帯広川西農協西組合長より講話を頂きました。西氏は農村婦人に対し、「農

が、回転が悪くなるので？… 両県を視察して岡山は一産か二産で搾れるだけ搾る。高山は大事に少しでも長く働いて貰おうと極端な地域差が見られました。なお、詳しくは同志会の例会等で報告する予定です。

この二日間研修で学んだ事を無駄にせず、これからの農協婦人部活動が一層活発化するよう生かしていきたいと思います。

「この研修でいろいろな事を学びました」西崎さん、安江さん、藤原さん

三名が参加して研修を受けてまいりました。第一日目は、北海道新聞社論説委員、塩崎氏より、「消費者から見た農業について」と題し、消費者の意識や食生活の変化、また、消費者が農業に望む事は何か、では生産者はどうすべきか、お話をしていたいただきました。消費者が農業に何を望んでいるのかと

言う事について塩崎氏は、「無農薬ないし低農薬を望んでいる。私達の北海道は、「クリー」ン北海道」のイメージを大切にしなければならぬ。」と、また、「売る努力」と消費者との連携という事で牛乳のPRについては、「今はヘルシーの時代であり、「二〇〇cc パワー」を売り込みの材料とするより、カルシウムを強調

習日の研修は、家の光記事活用体験発表が行なわれ、続いて「農協と農協婦人部活動について」、帯広川西農協西組合長より講話を頂きました。西氏は農村婦人に対し、「農

が、回転が悪くなるので？… 両県を視察して岡山は一産か二産で搾れるだけ搾る。高山は大事に少しでも長く働いて貰おうと極端な地域差が見られました。なお、詳しくは同志会の例会等で報告する予定です。

この二日間研修で学んだ事を無駄にせず、これからの農協婦人部活動が一層活発化するよう生かしていきたいと思います。

効率良い乳生産をするための技術対策

●乾草・サイレージの

補給を早目に

放牧地の草勢が極端に衰退して来る時期です。

放牧主体の飼養条件下では、乳牛の要求量に対して栄養・乾物摂取量が急激に低下してきています。

したがって、放牧草のみの飼料体系でなく、乾草・サイレージなどを早目に補給して、乳量・乳成分の低下を未然に防ぐよう努めて下さい。

現在、乳生産調整を余儀なくされているのだから、前述のような手段は「不必要だ」と考えている御人がいたら、大きな誤りです。

もし、泌乳最盛期にある牛に、栄養・乾物共に不足したまま推移させると、最高日泌乳量が高まらないばかりでなく、急激な乳量低下を招き、乳期乳量更には、乳成分の維持向上などは望めなくなります。

また、こうした状態では、

愛牛の健康も保持できません。

●乳牛の健康と粗繊維

乳牛は消化生理のために多くの粗繊維を必要とします。

乳牛が健康を維持し、牛乳生産を効率的良く行うためには、摂取乾物中に一六%以上の粗繊維が必要です。

表一を見て下さい。これは当地域で生産されている粗飼料品質をもとに、粗飼料と濃厚飼料の給与割合を模式化したものです。

乳牛の健康と泌乳効率から見て、ガイドラインは、粗飼料六〇以上対濃厚飼料の四〇以下を目安として給与していくことが大切です。

●飼料分析を実施して

適正な給与を

今年調整した粗飼料の確保量を正確に把握すると共に、飼料分析を実施し、適正な給与割合を維持して、乳牛の健

康の保持と効率的乳生産を実践することこそ、より収益性の高い乳生産に結びつきます。

したがって、乳量の出荷調整を端的に給与飼料の手控えて同調することは極めて危険な発想と云えます。

●育成牛の下牧後の

適正管理を

公共及び共同牧野等からの下牧牛を受け入れれるために事前準備として、放牧草地の確保、パドックなど収容施設の整備をしておきましょう。

若牛を公共(共同)牧場から下牧させると開放された環境から制限された環境へと変化するためにストレスがたまります。その対策として、放牧地や、広い運動場などを確保してやるのが大切です。

また、下牧直後は飼料の急変をさげ、可能な限り青草中心の給与をし、徐々に乾草・サイレージに切換える。乾草

は屋外でも給与し、スムーズに飼料移行を図ってやりましょう。

図一 濃厚飼料と粗飼料の給与割合と乳牛の健康、牛乳生産の関連模式

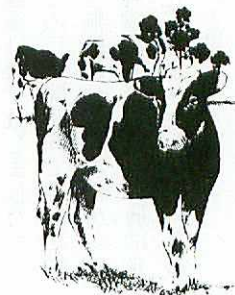
給与比		乳牛の健康状態	牛乳の生産	全飼料中の含量(乾物中)	
粗飼料	濃厚飼料			TDN含量	粗繊維量
0	100%	・消化障害 ・ルーメン ・パラケラトシス ・ルーメンアシドーシス ・食滞 ・下痢 などが発生しやすい (45%)	乳脂率の低下 (35%)	77%	4%
10	90			75	6
20	80			73	9
30	70			71	11
40	60	健康	良好 (75%)	69	14
50	50			67	16
60	40			66	18
70	30			63	21
80	20	牛乳生産率の低下	牛乳生産率の低下	62	23
90	10			60	26
100	0			58	28

濃厚飼料

TDN 粗繊維 77%

粗飼料

TDN 粗繊維 58% 28%





環境整備の工夫、努力についての検討会

環境整備で魅力ある農村づくりを目指す!!

農村のめぐまれた自然、立地条件を生かした明るく住みよい生活環境、生産環境の整備を図り、魅力ある農村づくりを地域ぐるみ、町ぐるみで目指して。



住まい、芝生、花壇、庭木と見事に調和。(来栖宅)

北根室農業改良協議会は、九月十七日中標津町農協・標津町農協の農家で、環境整備実施農家(21戸)を巡回、両農協管内からモデル農家として6戸を選出した。九月十九日、十七日に選出されたモデル農家を協議会から12人と、中標津・標津・計根別などの婦人部員54人が参考事例にしようと現地視察を行なった。選出されたモデル農家名。

中標津地区

標津地区

- 来栖 多美子さん
- 佐伯 由美子さん
- 安田 じゅん子さん
- 岩倉 信子さん
- 村上 よし子さん
- 村上 しずえさん

視察した6戸の農家はいずれも庭木、芝生、花壇と見事に調和がとれている。更に住宅・施設周辺の環境整備に工夫や努力している事が伺われた。

視察して参考になったこと、工夫、努力していることについて検討会が開かれた。主に「雑草の処理はどの様に行っているか」「環境整備は家族ぐるみの協力が大切」「どうしたら男の人・家族が協力してくれるか」「負けずに根気よく言い続ける」など話しあいがなされた。

環境整備は、住みよい豊かな農村を築くために大変重要な課題です。このようなことから地域ぐるみ、町ぐるみで農村環境整備推進運動を展開することになった。



庭木、銘石? 滝・池・水車小屋と調和のとれた日本庭園(長正路宅)

秋一番の味覚は 北の大地から!!

掘りたて「伯爵いも」ふるさとへ直行便でどっさり

第7回じゃがいも伯爵まつり



出来秋、収穫の喜びを身体で味わう家族連れ



中標津特産「伯爵ばいしょ」産地からの直行便



いもまつり会場に
大勢押し寄せたミツバチ族



婦人部の協力でイモの煮方を教わる青年部員



牛乳早飲み競争。女の児がダントツでした

農協青年部主催、町と農協後援の「第七回じゃがいも伯爵まつり」が、九月六日(土)午後からと七日(日)の両日、東武佐の青年部畑作部会試験圃で催された。

六日は生憎の霧雨模様で客足は鈍かったが、七日は心配された天気も朝から絶好の日和に恵まれ、大勢の町民・家族連れ・ミツバチ族(延べ二千人)が訪れじゃが芋掘りを楽しまれた。「ワア〜でつかいイモ」「沢山なっているネ」と喜び満面にして収穫の秋を味わっていた。

武佐郵便局の出張サービスもあり、本州のふるさとへ掘り立てのイモを送るミツバチ族の姿も多かった。

会場では婦人部の協力により伯爵いもの塩煮(バター付)カナッペ、いも団子の提供。青年部特製の綿アメ、フライドポテトの安価提供に子供らの人氣が集中した。用意した原価提供の焼肉も瞬く間に売り切れて売り子の部員を慌てさせた。一方、牛乳消費拡大キャンペーンでは搾りたての牛乳を提供、会場へ訪れた大勢の行楽客は本物を味わい好評だった。

アトラクションでイモの重さ当てクイズ・牛乳の早飲み・親子でのイモ積み大会が行なわれ、会場は食欲の秋を満たし終日にぎやかな歓声にわいた。

春以来丹精こめて作ってきた秋野菜もいよいよ収穫期を迎えようとしております。

最後の管理や、主要な秋野菜の収穫時期、そして、ほ場の清掃等について述べてみたいと思います。

一、秋野菜の管理

病害虫の防除は収穫期も近づいてきたので出来るだけ中止する、止むなく農薬を散布する時には低毒性(病害IIトツプジンM、害虫IIデス七五)の農薬を早目に散布し、収穫までの日数を多くすることが大切です。

二、収穫時期

野菜の収穫時期は種類や品種によって違いますが、一般に中標津町内で栽培されている主要な野菜の一応の目安を述べますので参考にして下さい。

(1)、だいこん

だいこんは短期で大きく育てるのが美味しいだいこんを作るコツですが収穫適期は播種後六〇〜七〇位で一本当たり一kg前後で根径六〜九cm程のものを時期を逃さず収穫す

る、余りおそくなるとス入りだいこんや筋が多くなるので注意して下さい。

(2)、キャベツ

自家用であっても葉肉が硬化した老熟キャベツでは美味しいはずがないです。また、未熟では貯蔵性に欠けるので完熟直前のものが収穫

季どり」キャベツで一二〇〜一三〇日目頃を目安として収穫すればよいでしょう。

結球部を包んでいる抱合葉の先端が枯れ込むのは過熟傾向にあるので八〜九分結球位の時期に収穫することが歯切れのよい時期です。はくさいもキャベツ同様、播種後何日目頃が収穫適期と云うことは仲々難しい面もありますが一応の目安として、中生種で九五〜一〇五日、晩生種で一〇〜一二〇日目頃を目安とする。

(3)、はくさい

かぼちゃは完熟果の収穫が原則ですが、最近、人気のある芳香、えびすで人工交配後三〇〜三五日位で完熟する。ただ、成熟日数は、その年の天候に左右され、低温では延長し、高温では短縮される。また、見かけ上の判定は果梗のコルク化した白っぽい亀裂の発現によって判定するが、その数は十一〜十二本で果梗全体にゆきわたったところが収穫適期です。

四、ハウスの管理

ハウスは収穫が全て終わったら速かにビニールをはずし、雨にさらす、雨水は過剰な塩分や土壌菌を流したり、土壌養分の片寄りを防いでくれる。また、ビニールを取りはずしておけば雪でハウスの骨材が折れる心配ありません。ただ、秋おそくまでとか、春早やく野菜を作る越冬ハウスは補強材を使って頑丈にしておくことです。

ハウスは三〜四年同じ場所野菜を作ると連作障害や病害が多く発生するようになるので、二〜三年を限度に設置場所を移動する。

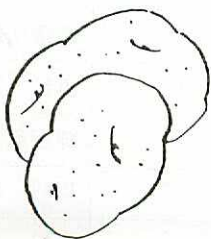
来春、ハウスを設置する予定地には予め石灰や完熟堆肥

生活講座 ④8

秋野菜の収穫時期とほ場の清掃

北根室地区農業改良普及所

—馬鈴しょ、ことはじめ—



明治6年(1873)以降「アーリーローズ」「スノーフレーク」比較造酒のたし、英国の田男爵を見出し「グリーンマウンテン」など多くの品種の導入により、明治38年、旭川酒造の川田男爵が試作、39〜42年の間に多数の品種から「男爵薯」を抽出し、1947年に「男爵薯」が登録された。

(資料 北農試「北海道農業技術研究史」他)

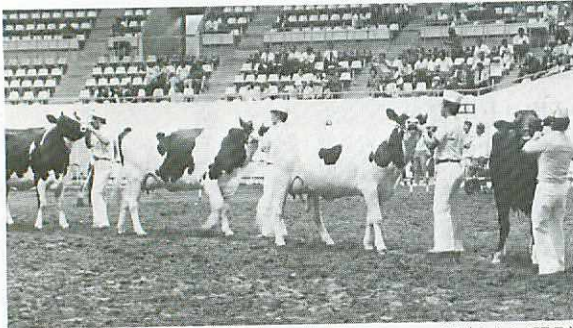
そして殺虫剤(オルトラン粒剤一坪当たり二〇g)を施用しておくことが大切です。

北海道総合畜産 共進会終了

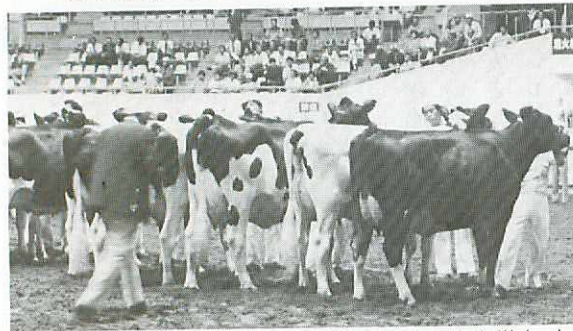
道主催の第九回北海道総合畜産共進会が、九月五日から七日の三日間札幌市月寒の産業共進会場で開催された。乳用牛の出品は三百二十頭で、審査は未経産四部、経産六部の合計十部によって行われ、出品牛は九月三日朝六時に出発して、会場についたのが午後三時三十分頃でした。到着の夜大雨が降り、牛舎が洪水となり大騒ぎしましたが、会催中はまずまずのシヨウ日和で、各地から集まった多くの参観者が見守る中、牛・馬・

肉用牛・めん羊・豚と審査が進められた。尚種雄牛の部は廃止され、出品牛は、未経産牛については、母牛が公式検定（北乳検の成績及びホル協検定）終了牛、又は実施中のものでF指数百八十五以上、経産牛については、本牛がF指数百八十五以上、多回検定の部は、六才以上で、検定を三回以上実施し、三回の平均がF指数百八十五以上のものとなっている。

肉用牛の各部にベストアター、三才から乾乳までの五部については二等賞以上入賞牛の中から四%FCM換算乳量最高のものに、ベストプロダクションが選定された。中標津から牛九頭、馬一頭の計十頭の出品が有り、五十%の入賞でした。乳用牛の部審査員は、北海道ホルスタイン農協審査部長、井上章氏で、馬の部は、日本馬事協会北海道支部、那須正次郎氏でした。



5部で1等2席に入賞したアールチェタイディホープ号(右から2頭目)



比較審査後、序列が決まった。

第9回 総合畜産共進会 中標津町農協出品牛馬入賞一覧

部	賞順	名	号	出品者
1	1-8	トミーキット	バリエント	富沢 貢
1	2-10	アースイースト	ポシュロ エラ	佐々木昭雄
2	3等賞	カントリーライト	マッチレス バリエント	国光 達男
2	"	ノーススターマン	ローヤル	久保 剛
4	2-4	ロックリンマ	アールチェ コンフィダンス	川村 清身
4	2-5	スタークリーク	ランチ キット	遠藤与畏二
5	1-2	アールチェ	タイデイ ホープ	川村 清身
6	3等賞	ウィステリア	スパーブ マツオ	弾正原 正
10	"	アールチェ	ホープ クリスタ	川村 清身
馬	"	栄	宝	横田 好一

てん菜の受入期間決まる

今年のとん菜の受入れは、十月二十日から十一月二十五日の間で行なわれることになりました。昨年、計根別に運送のストックポイントを設置していましたが、今年からは中斜里工場へ直送することになりました。従ってお願いしたいことは、掘り取り指示日を必ず守ってほしいことと、トラックで搬出しやすい個所に集積していただくようご配慮をお願い致します。

一日貯金の集金に伺います。

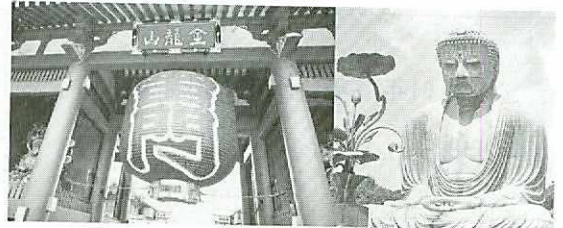


農協／北信連／農林中金
**くらしに力を
農協貯金**

十月十六日、十七日は、一日皆貯金日の日です。
今年も職員が各家庭を訪問いたしますのでよろしく
お願い申し上げます。
今年
の目標額は八千五百万円です。

東京・伊豆方面に旅行しませんか

今年の旅行は東京・伊豆方面の旅行を計画いたしました。東京のお話しをよく聞きますが、案外と東京都内のことについては知らない人が多いように思いますので、熱海・長岡温泉に宿を取り、都内見物を予定しました。ご希望の方は農協貯金係へ申し込んで下さい。
なお旅行の行程表については先に送付しましたパンフレットを参考にして下さい。



11月1日から 農協の 就業時間が 変わります



農協の就業時間が十一月一日から翌年四月三十日まで次のように変わりますのでよろしく
お願い致します。

記

事務所 平日は午前九時から午後四時半まで
土曜日は午前九時から正午まで
貯金・組勤窓口の営業時間
貯金 平日は午前九時から午後三時まで
土曜日は午前九時から正午まで
毎月、第二・第三土曜日は休業いたします。組勤 平日は午前九時から午後四時半まで
土曜日は午前九時から正午まで

午まで

毎月、第二・第三土曜日は休業いたします。

ATM (現金自動受入・支払機) 平日は午前八時

四十分から午後六時まで、

土曜日は午前八時四十分

から午後二時まで

ストアー 午前十時開店、

午後六時閉店

スタンド 午前八時半から

午後六時まで営業

資材店舗 平日は午前九時

から午後四時半まで

土曜日は午前九時から正

午まで

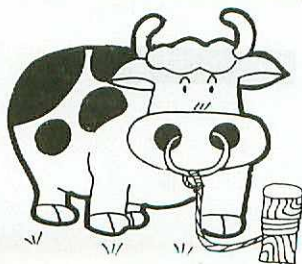
人工授精受付時間

平日は午後一時まで

土曜・祝日は午前十時

まで

— 酪農、ことはじめ —



明治8年、技術者として来日していた米国人 エドウィン・ダンが七重(現在の七飯)観業試験場で多くの農業技術を指導、明治9年真駒内に札幌牧牛場(新得畜産試験場の前身)を建設したのが本道酪農のはしりである。

(資料 北農試「北海道農業技術研究史」他)

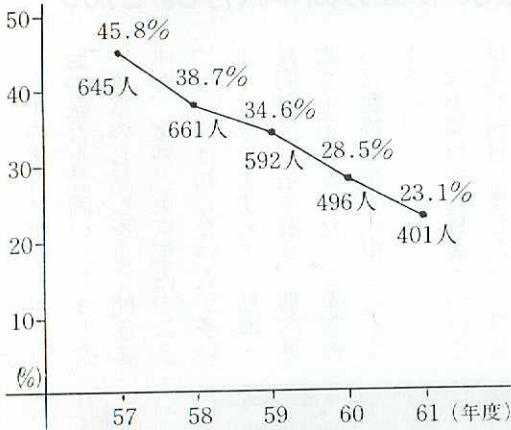
昭和61年10月13日

61年度

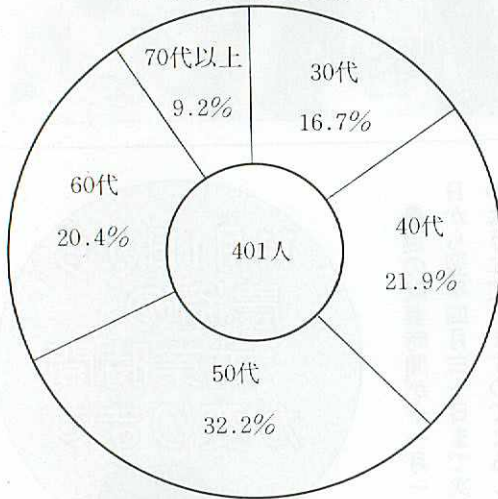
郡部成人病検診

中標津町保健指導センター

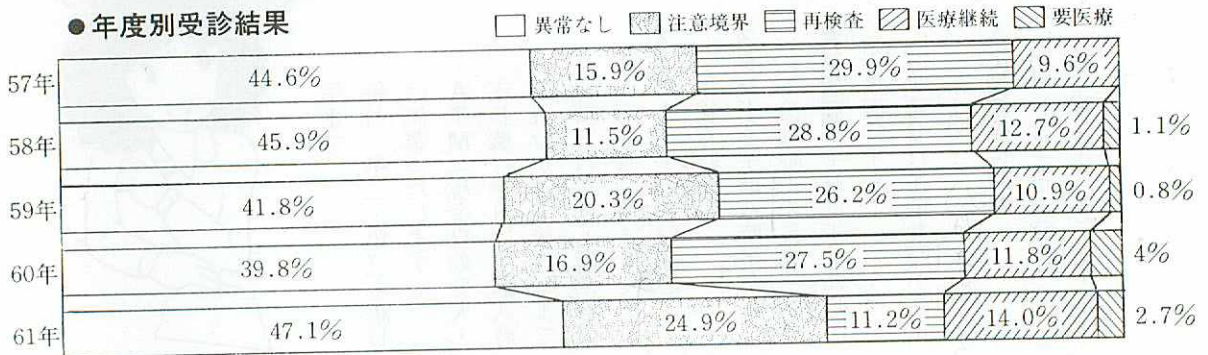
● 受診率の年度推移



● 61年度年代別受診状況



● 年度別受診結果



61年成人病検診注意再検査の内訳

注意の内訳

高血圧 34人 肝臓病 5人
 心臓病 27人
 貧血 20人
 タバコ 13人
 肥満 10人
 高脂血症 7人

再検の内訳

高血圧 15人
 貧血 9人
 肝臓 8人
 高脂血症 6人
 心臓病 6人
 他 2人

要医療の内訳

高血圧 3人
 貧血 2人
 その他 4人

61年度の郡部成人病検診が八月の末に行なわれました。今年には検査内容など昨年と変わりありませんでしたが、料金面で町の補助が増額され、より受け易い検診となった訳ですが、結果は左記の通り昨年に引き続き受診数が大巾に落ち込みました。

「以前の検診が良かったので受ける気にならない」「以前うけて異常があった(又異常が見つかりうるさく言われるのがイヤだ)」「検診・病院が嫌い」「具合が悪ければ病院に行く」と言う人がいますが、成人病は、自覚症状のない慢性疾患です。具合が悪くなって行くのでは、立派な高血圧、立派な心臓病になってしまいます。又

人間の体は日々刻々変化していますので、年一回の検診は欠かさず受けたいものです。今年度は、全地区年一回という事で実施しましたが、今回行けなかった方は、来年月市街地で成人病・胃がん合同検診を実施(各単独で受けられる)する予定ですのでぜひご利用下さい。

10月より
12月期

配合飼料価格

全畜種平均トン当り 三、〇〇四円値下げ

組合員の皆さんは新聞報道

等で、御存じのことと思いま
すが、十月一日より十二月三
十一日迄の配合飼料供給価格
が変わりました。

改定の主な理由は、飼料用
主原料、蛋白原料等の値下り
と外国為替相場の円高基調に
よるものです。

(1)とうもろこしは主産国、米
国の作付面積の減少があった
ものの反収では史上最高が見
込まれる豊作がほぼ確実にな
っていることと、明年度末在
庫量が九ヶ月分になるものと
推定される。

(2)大豆粕はシカゴ定期の堅調
な動きなど安定した推移にな
っている。

(3)魚粉は道東沖イワシ漁が順
調であることから安定した相
場展開になるものと考えられ

る。

(4)外国為替は米国経済の伸び悩み、米国公定
歩合の引き下げ等で円高基調にあること。

以上のような理由により十月一日より、乳
配でトン当り二、九五〇円→三、一〇〇円、
育成牛用二、八五〇円→三、〇〇〇円、肉牛
用三、〇〇〇円→三、一〇〇円の値下げとな
っています。

詳しくは、価格表を全戸に配布しますので
ご覧下さい。



10月1日から12月期飼料価格値下げになる

給油所の給油 機械及び精算処理 の一部が変わる



装いも一新サービスの向上を目指す

従来の機種が老朽化したのをはじめ来
年一月より農協事務処理システムの変更
に備え、又組合員利用者のサービス向上
とも含め、九月十六日より新しい機種に
よる給油を行っています。

新しい給油機種による主なサービス向
上点は、

- (1)給油伝票に組合員氏名及び品名が印字
されること。
- (2)配送軽油、配送灯油については家計用
農業用に区分され精算されること(ただ
しカードによる給油は従来どおりです。)
- (3)品名コードも多くなり購入した品が精
算時に判りやすくなっています。

(4)組合員勤定報告書には昭和
六十二年一月からではありま
すが、購入した品名は漢字で
印字されますし数量も記入さ
れます。

組合員の皆さんにお願いで
すが、新しく発行しました給
油カードは、給油の都度必ず
提示して下さい。

給油カード(磁気カード)
は磁石、熱に弱いので車のダ
ッシュボード、テレビの上に
長時間放置しないで下さい。

力の限界に挑戦した!!

農協共済 農民綱引き大会 第4回 根室地区

第4回根室地区農協共済農民綱引き大会が、9月6日中標津町体育館に管内7農協13チームの参加で行なわれた。



開会式で選手宣誓をする第2俣落ロッキーエイトの沖芳美キャプテン

当農協からは八月二十三日に行なわれた農協選手大会で優勝した当幌クレージ一オックスチーム(安田稔監督)と準優勝の第二俣落(西竹)ロッキーエイトチーム(滝ヶ平義明監督)の二チームが練習で培った力を身体に秘めて大会に臨んだ。

大会は午後一時に開会式で始まり、会場の二階席は控えの選手や大勢の応援団、観客で満員となり大会の雰囲気は盛りあがった。競技はトーナメント方式で(三本引き)行なわれ、第一試合に第二俣落ロッキーエイトチームが上春別キングパウズチームと対戦、一気の引きで2セット先取し二回戦へ進出。二回戦の相手チームは不戦勝のベツトウガと対戦、こ



声援を受けて4位になった第2俣落ロッキーエイトチーム

れたまたストレットに2セット先取して準決勝戦進出を決める。期待はしていたが、第二俣落(西竹)チームがこれ程勝ち進むとは予選を通じて当幌チームとの練習試合は勝ちめがなかった。だが「最近の試合でやっと五分に引き合う様になった」と聞いていたが一、二回戦では予想以上の練習成果を発揮した。

準決勝戦の相手チームは、三年連続優勝している別海バツファローズ一世だ。選手は臆することなく試合に挑んだ。大勢の観客も判官びいきか第二俣落ロッキーエイトに声援が飛んだ。だが、常勝別海の壁は厚く零対二で敗れた。第二俣落チーム最後の試合三位、四位決定戦。対戦相手の川北オックスチームも準決勝で別海ストロングマシーン一号に

敗れての試合、一対一の好勝負に会場の応援団・観客から拍手がわき起こる。三本目、流石の第二俣落ロッキーエイトも激戦の疲れか、力の限界が一对二となり四位となった。第一回大会より念

願であった初戦突破を俄に編成したチームが成し得た事は賞賛に値する。

一方、当幌クレージ一オックスチームは、一回戦第四試合で上春別バトルベアーズと対戦、実力を発揮することなく零対二で敗れ、期待して応援に駆けつけた家族や仲間をガツカリさせた。敗者復活戦においても一勝に止まった。大会を通じて技術的には差はないと思う。ふだんの練習で養われた基礎体力ではなからうか「打倒別海チームを指して捲土重来を期待する。



力の限界にいどむ当幌クレージ一オックスチーム

9月分細菌・細胞検査成績

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
佐藤忠男				39			新井範美				43		
佐藤和男	51						片野博						
塩田専治	39	33			39	48							
五十嵐輝夫				45	51			第二俣落地区					
山本秀夫	42			66		48	西村和之					33	
安達和永		42	140		51		西保科洋	110				39	39
志賀詔一				33			松岡晴美						
志賀正治							田代昭一					54	45
篠永栄							井口則一						57
	俣落地区							安江孝男					33
原栄一						36	安江昭靖						
大木敏夫			72				山崎幸樹					36	
小林金司				48			山口秀一						
小橋寿							峰松美次						
岩井昇好							冲片宅春					63	90
服部一幸						33	弾正昭行						45
遠藤幸一		180			130	39	国光直雅					45	57
遠藤正幸		54		66		69	遠藤直雅						36
高橋文夫				39	72	45	佐伯清						
松村晴由	240						来栖清						
小本正春	120		51		45		川村繁七					39	
菅原弘志							加藤蝶司					66	
上村弘光	140		99	42			星野七司	150					33
上村力				45			滝本広明					57	51
松本正通					45		滝平義栄						60
藤原信雄							内山明治						
遠藤照一						42	八木健雄					72	48
阿部稔春					36		中浦秀隆						63
上ヶ島利春					75		前原芳照	84	72		33		42
山崎清一					42	60	町川喜清						36
藤田誠一							房富保男						
藤田幸男					33		宮沢茂夫					39	
釘持与畏					36		谷村三郎	51	57			36	39
遠藤実					33		武井弘美						
宮田孝					33		藤北匡一						36
鷺見孝愈					33		杉本匡一						
真部利秋					36	96	杉田義一						
渡辺清信	130				33	39	田島康						
小出清雄							佐藤幸男			170		39	
相沢直雄				45	42		松本盛国	33	300				
太谷盛一							飯野盛吉	72	48	63	48		
小谷盛一							竹下日吉	75					39
秋山勉							柳田治郎				78	48	90
齊藤清和					42		柳木喜三	78					
広瀬清美		160					青木ふさ	84				51	48
笠原良夫						39	青木好一						33
武田淳志					36								
後木意子	36	33		48	93	51							
久保栄	60			33		36							

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無量大です。

胞検査成績

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無限大です。

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
中本 要		63					加茂 正 毅		42				
半沢 利平	48						佐々木 政 行		63		42	28	48
国見 一男	120		39				三友 盛 行						
国見 実				84	81	87	高島 貞 作				57		72
斉藤 哲雄	110				36		福島 信 一			42			
斉藤 栄七							古田 起 雄					51	
伊藤 秀子	290			100	57	63	中本 田 萌						
千葉 清正							中村 敏 夫						
村井 直行		57		33		60	真野 勇 夫			69	36		33
山崎 隆						39	多田 俊 夫			36	66	160	130
後藤 信夫				49			小伏 岩 正					33	
斎須 清志					25	69	伏見 哲 弘						
今井 靖清						69	中川 弘	200		190	72		69
山田 昭男						69	武 佐 地 区						
山房 和洋						42							
井上 芳行				48	45		丹羽 孝 一			57			
笠井 剛				66	54	60	丹羽 賢 一				33	99	33
赤堀 岩男				60	60		中司 哲 雄						33
鈴木 敏夫				42	54	63	上原 德 保					36	
開陽 牧場						48	工藤 正 儀						60
俵 橋 地 区							舟橋 清 高						
名越 優							酒井 清 志						
乾 雅	170					39	目黒 雅 隆				42	33	63
乾 晴洋						36	工藤 重 美						36
伊東 信一						39	坂口 光 彦						
大山 富雄							白田 慶 和					39	39
山下 孝二							井上 精 一					33	54
北川 栄治					45	66	川口 隆			36		33	45
水本 正二							長谷川 寿						
水本 みどり				51	36	39	花尻 武 夫	48			72	45	
山本 清				66	25	33	中条 由 治				72		48
榎田 英雄							奥村 協 貴						81
佐々木 昭雄				42	36	90	萱高 昌 信	33			57		
野口 史朗				48		39	高橋 秀 夫				51		
太田 功郎		78	120				中藤 勝 一	270					39
岡子 安有					54		林 文 雄					45	
高野 国雄							佐藤 敏 昭	60		180	99	78	93
中林 忠雄							佐藤 一 広				69		36
工藤 隆弘	48	140					清原 賢 一					36	36
赤波 江清		33					湯山 稔 一					42	45
沢口 俊夫							門馬 正 志						
桜井 義雄	25				69	39	中西 文 夫					45	110
西山 健郎			90				石原 竜 雄					45	
大西 一郎					42	60	西井 武 一			51			42
大西 英明							土井上 信 一						60
福島 昭憲					39	60	土井上 晴 夫						33
下川原 政市					48		小沼 悟 正						45
三輪 貞夫			25		48	66	熊山 雪 信			45			
西山 宏夫	66						真野 光 章						36
佐々木 邦一					42		寺島 享 治			39			54
日下 芳彦							佐藤 憲 治					48	42
赤波 江一彦				36	48	130	63						

細菌検査の結果表示について、従来まではランクで表示していましたが、実数で示す事になりました。
細菌数200万以上400万迄は5円、400万以上は50円のペナルティが課せられます。

9月分細菌・細菌

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
当 幌 地 区													
飯島光五郎				130			石崎多門						
飯島清市							林仁一郎				48	54	33
奥田勝佳				36			高藤祐蔵						33
奥田建雄	57			33	42		連田弘				78	45	
中山進一						33	永谷雄幸						
阿部俊勝	39			36	57		長繩幸弘						36
鈴木祥幹	99	54					麻郷地忠勝						
西垣丈		120					小針和也	71	36	180	48	72	
小原丈治	33			33			花川秀一					45	
吉田正行							古沢翠稔						36
竹村満夫				45			花川井照男					48	
高橋常次	57			150	57	84	岡部実行	360			96	42	57
筒井富男					36		渡辺善行				42	84	39
筒井祐二		72		36	96	36	松隅健二						
安田一男	130						古瀬久夫					36	36
山田吉正				48	66	48	藤本清夫	42			39	36	45
舟田正義							小佐藤道嘉	110	99	110			
菊地良三				72		81	佐藤美美				39	39	63
遠田要三				33	45	66	佐藤永雄		130				
長正路清夫						33	佐藤東博						
大野富夫				45			白築政博						
吉成務守							望月幸男	120	54	180			
福村守成				51	66		武田勇夫				57		66
遠藤弘成							高橋敏夫						
中 標 津 地 区													
綏坂欣一				51		51	阿部正六				33	45	90
綏坂恭民							佐藤三男	39			33		45
吉川晴久													
滝場慎二				33									
久保慶一郎					36		開 陽 地 区						
久我良夫					69	48	土井上昭男						
正城純一							山田輝男	60			66		
荒昭一	110						吾妻紀巳夫					42	36
桜井幸一						36	桜井寿夫	36	290		39	33	42
佐々木繁雄							高橋勝義				51		36
佐藤信義		84					中本トモ					45	
三森章司		39				36	丸田良夫	66			54	84	
下山幸一							鈴木修				48	72	110
長瀨貞義							高橋一男					39	96
							高平幸夫					33	

質のよいミルクを
 つくるために
 これだけは
 守りましょう。

[6つのルール]

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送ってください。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送ってください。
- ②あなたの氏名・住所・年令を書いて下さい。
- ③対象者 小・中学生
- ④宛先 中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広

報係

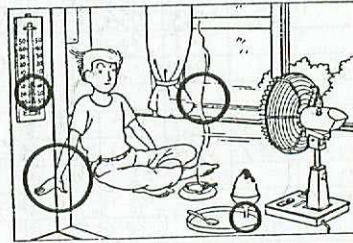
- ⑤締切日 十月二十五日まで
- ※正解者には当り賞、応募され、残念だった方には参加賞を差し上げます。なお、賞品は農協へ受け取りに来てください。

※発表は、十二月号紙面で行います。

〔八月号の当選者〕

七月号の正解は「四つ」
(下の図の○印)でした。応募者数三名で正解者は、三名でした。

〈8月号の間違い箇所〉

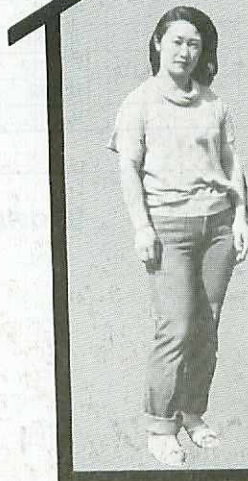


正解者は次のとおりです。
南中 緩坂直俊くん
高嶺 小林健一くん
小林 稔くん

9月の組合日誌

- 5日 北海道ホルスタイン共進会
- 6日 第4回根室管内農民綱引き大会
- 7日 第7回じゃがいも伯爵まつり
- 8日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 16日 ストアーPOS導入始動式
- ” 澱粉工場操業式
- ” 旧農業倉庫(1・2号)解体開始
- 21日 管内農協役職員ソフトボール大会
- 27日 管内農協草地担当者会議
- 29日 管内農協組合長会議
- 30日 第8回理事会

表紙写真



今月号の表紙写真は、武佐地区の中司俊枝さん(三四)です。
俊枝さんは嫁がれて十三年経ち、小学六年生になる男の子を頭に、三男一女と子宝に恵まれております。
「これまでは育児・農作業にと忙しく仕事に興味でした。子供らも少しずつ時間が掛からなくなってきたので、住宅や施設周辺の環境整備をしたいと思いますね。」
「農閑期に若妻グループが集まり、おしゃべりしながらお菓子やおやつ作りが楽しい一時です。」
「旅行……未だ先の話し、楽しみにしています。」と語る健康な若奥さんです。